

塗装乾燥時間短縮対応アルミホイール梱包箱

改善前：梱包手順



①表面傷を修理し、塗装行う。
その後、約1日乾燥させる。



②乾燥後、表面に傷がつかないように不織布を被せ保護する。



③さらに、エアキャップと段ボールを被せ保護する。



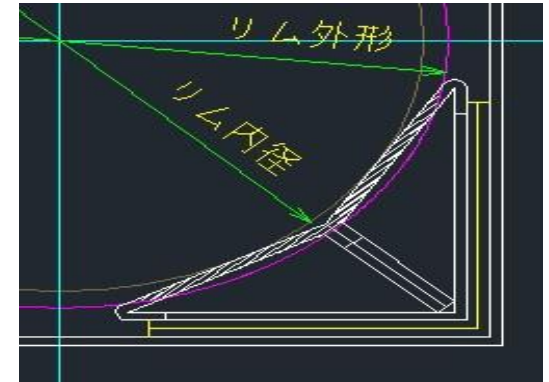
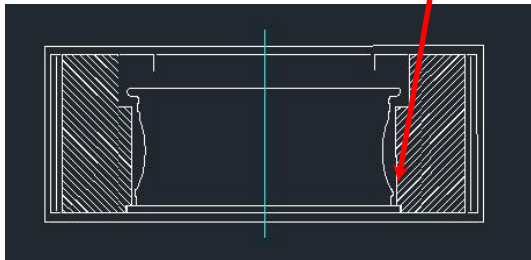
④上下左右にズレない様に隙間にエアキャップなどを詰めてからさらに段ボールで固定し出荷。

改善後

梱包箱のフタの落込みもなく、ホイール天面はどこにも接触しない。

底部リム押さえ部分

【断面図】



外装箱の天面内フタの落込みを防止している。ホイールを直に固定。不織布等不要



改善後の効果

- ①修理表面部分に梱包材が接触しないため、塗装乾燥を待つことなく梱包でき、当日出荷が可能となった。(配送時間を乾燥時間に充てられる。)
- ②ホイールは径が同じでも高さが異なるのでホイールごとに詰め物で調整していたが、改善後は専用固定材だけで対応可能となった。不織布や詰め物が不要になったため、梱包時間も従来の約1/4となり大幅削減できた
- ③翌日までの乾燥場所も作業場所として有効活用できるようになった。

